



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'97 10月号



第5回平塚市博物館公募写真展

期 間：10月1日(水)から10月30日(木)まで

展示されるもの

優秀賞・入賞作品の展示、全応募者の写真カード

古写真の展示コーナー

「古写真を寄贈して下さい」

過去の入選作品コーナー

「野鳥の世界」と「相模川いろいろ」

昭和62年に始まった第1回公募写真展は開館10周年記念の一つとして企画された事業です。表のとおり、以後4回実施され、多くの公募作品によって支えられてきました。

回数(実施年度)	応募点数
1回(昭和62年)	184点
2回(昭和63年)	147点
3回(平成2年)	163点
4回(平成5年)	307点
5回(平成9年)	279点

博物館では入賞された作品を、積極的に活用してきました。たとえば、今夏の特別展「農家の四季」でも展示し、図録に掲載させていただきました。10年、20年と年を経るごとにその作品の重みを感じます。今後とも継続していきますので宜しくお願い申し上げます。

博物館実習生が制作した寄贈品コーナー 「飛ぶ一翼と羽一」



9月10日から18日の1週間、博物館実習生13名を受け入れました。例年のスケジュールのとおり、初日はガイダンス、2日3日は分野別の整理、4日目は普及事業の参加（漂着物を拾う会）そして最後の3日間は寄贈品コーナーの展示制作を行いました。今年の展示担当は浜口学芸員。資料は鳥の剥製・骨格標本、鳥の羽や羽を使った製品です。これらの資料を使って、展示の意図、展示の構成や資料の見せ方の実習です。大変悪戦苦闘しながらの展示ですが、是非ごらん頂きたいと思います。



実習生参加記

博物館というものは、人々にとっていろいろな発見のできるばであり、その人達によって支えられているのだという事を実感しました。来年には2階の展示が変わるようですが、これからも来る人皆が楽しくて、いろいろな物などに対する「見る目」が少し変わるような博物館であって欲しいと思っています。(Y・K)

博物館に実習にきて行事に参加したことで自分の好きなことを長いあいだ続けてきてる。まるで博士のような市民の方がいることを知りました。今まで私がみていた展示というものは博物館のほんの一面でしかなく、みんなが参加し活動する場として、いつも「うごいている」ところなのだと感じました。(S・N)

展示制作ではアミダくじに負けて文字・文章の担当者になってしまい（しかも、自分が後から入れた線で、自分になってしまい）悲しいですが大変でした。一つのテーマを紹介するには、こんなにたいへんだとは。

改めて実感し、他の展示を考えながら作られているんだと思い直し、見方を変えようと思いました。(A・N)

「大学生」および「実習生」という『理性』で抑えて学生達は博物館にやってくるわけだが、そんな中でも一人ぐらいは「たが」が外れて群の中で浮いてしまうヤツがいる。そう。私です。(H・I)

インターネットで見られます

平塚市のインターネットホームページをご覧になったことがありますか？

この中に博物館から情報提供している「ひらつか図鑑」のコーナーがあります。

昨年10月より、「野山の自然」「水辺の自然」「ひらつかの星空」の3つの内容で掲載してきましたが、今月から新たに「平塚の戦跡」「平塚の遺跡」「農家の四季」などの掲載が始まり、市内に残る戦争の爪跡、私たちの町の古代の姿を物語る遺跡、人々の営みなどを紹介して行きます。「野山 - 」「水辺 - 」もライブラリとし

て整理され、四季折々の自然紹介がいつでも見られるようになります。

担当する平塚市情報政策課の内田さんは、「もっと情報を蓄積して、知りたい時にいつでも見られる『ひらつか図鑑』をネット上に作り上げたいですね。」と話しています。私たちも、ここをミニ展示室のようにして情報提供ができればと思います。

では、下記のURLでお会いしましょう。

<http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/>



SUKA CITY NAGAWA **平塚を探そう** LOOK FOR HIRATSUKA

ひらつか図鑑



平塚は、首都東京から約60kmという近い距離にありながら、山があり川が流れ、海の潮騒を間近に感じることができるまちです。
また、江戸時代には東海道五十三次の「平塚の宿」が開設されるなど、歴史的、文化的な資源もとても豊富です。
この「ひらつか図鑑」では、このような平塚の素顔をご紹介します。

平塚の遺跡	農家の四季	平塚の戦跡
水辺の自然	ひらつかの星空	野山の自然

◆トップページ ◆平塚市概要 ◆ひらつか図鑑 ◆イベントカレンダー ◆インフォメーション
◆生活関連情報 ◆リンクのページ ◆特別記事 ◆アンケートのページ

博物館カレンダー

10月の行事予定

1	水	◎	特別展 第5回公募写真展 30日まで	
4	土	○	こども観察会	(海岸)
5	日		民俗探訪会	
9	木		石仏を調べる会	
11	土	○	考古学入門 平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会	(館内)
12	日		地質調査会	(野外)
		○	自然観察ゼミナール(帰化植物入門)	
15	水		裏打ちの会	
17	金	◎	星を見る会(木星・土星)	
18	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 地質調査会	(館内)
19	日		古代遺跡を探す会	
		○	体験学習 蓄音機で懐かしの流行歌を聞こう	
22	水		地質調査会	
23	木		石仏を調べる会	(館内)
25	土		古文書講読会 天体観察会(星の写真)	(大磯)
		○	考古学入門	
26	日		相模川の生き立ちを探る会	(山北)

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

11月の行事予定

1	土		天体観察会(星雲星団)	(大磯)
2	日		民俗探訪会 地質調査会	
8	土		平塚の空襲と戦災を記録する会 古文書講読会 考古学入門	
		◎	漂着物を拾う会	
9	日		相模川の生き立ちを探る会	(箱根)
13	木		石仏を調べる会	
15	土		地質調査会 平塚の空襲と戦災を記録する会	(館内)
			プラネタリウム「星空の歳時記」2月1日まで	
16	日		古代遺跡を探す会	
19	水		裏打ちの会 地質調査会	
22	土		古文書講読会	
27	木		石仏を調べる会	
28	金	◎	星を見る会(秋の星座)	
29	土		考古学入門	
30	日	○	自然観察会	(鷹取山)

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制

●寄贈品コーナー

「現生と化石の貝」

高木コレクションと大磯の化石を展示します。

会期：11月1日(土)～11月29日(土)

●自然観察会

「秋の丘陵に行く」

期日：11月30日(日)

場所：鷹取山周辺

申込：11月20日までに往復ハガキで。

●星を見る会

「木星・土星を見よう」

期日：10月17日(金)午後7時から8時30分

「秋の星座を見よう」

期日：11月28日(金)午後7時から8時30分

参加自由。当日博物館科学教室にお集まり下さい。

*曇雨天時中止

●体験学習

●「蓄音機で懐かしの流行歌を聞こう」

ゼンマイ蓄音機で昭和初期のSP盤に入った流行歌などを鑑賞します。レコードの持ち込みも歓迎します。

期日：10月19日(日)午後2時～4時

場所：博物館

申込：10月9日までに往復ハガキで。

●「紙すき」

期日：11月30日(日)

場所：博物館

申込：11月20日までに往復ハガキで。定員15名。

申込多数の場合は抽選とします。

☆イブニングミュージアムのお知らせ

特別展開催期間中の金曜日は、午後7時まで開館します。ただし、10月10日は17時までです。

あなたと博物館

22巻 7号 通巻 248号 発行 平塚市博物館 3000

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949